

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
首藤 孝治・牧田 俊之



牧田俊之議員



一般質問動画

【洪水ハザードマップ】 台風19号により東日本を中心に洪水氾濫被害を受け、最大規模想定で新たに洪水ハザードマップを作成する動きがあるため市内を流れる中小河川も含めるべきと提案しました。

【交通事故対策】 東京都などで導入している「後付け踏み間違え防止装置購入補助」について本市での導入を提案し、国の制度の補完を想定し21年度の実施に向けて進めるとの答弁があり「安全運転サポート車購入補助」制度についても紹介がありました。

【統合型リゾート】 申請を見送るとした知事の判断を受けて、これまでの調査などで得られた成果の活用、環境影響調査の継続、財政計画への影響などを質問し「申請主体が都道府県となったことが想定外だった。国際リゾート構想の実現に向けて引き続き取り組みを進める」と市長答弁がありました。



首藤孝治議員



一般質問動画

【医療的ケア児(者)について】 医療的ケアが必要なお子様をお持ちの保護者の皆様は、たん吸引や経管栄養など、お子様が生きていく上で必要な医療的援助を24時間365日お子様に付きっきりで対応されております。医療的ケア児(者)の質問に関しては3年ほど前から議論させていただいており、中でも医療的ケアが必要なお子様を安心して預けることができるシヨートステイ事業を1日でも早く設立する必要があることを強く要望し質問しました。19年度市政方針の中で市長も「医療的ケア児の短期入所支援などの実現に向けた検討を進め、障がいのある人へのさらなる支援に取り組む」とあり、現段階においてシヨートステイ事業設立に向けた準備が確実に進捗していることを確認しました。また、停電発生時の緊急避難場所についても質問しました。

【議員定数4減を提言！】 全員協議会が議員定数について議論し、さまざまな算定根拠はありますが、私は現在の定数28名から4減となる定数24名を提言しました。市議会では、今後の人口減少に伴う収入が減少することが予想される中、行政側に対して各種事業における費用削減を求めています。これは議会も同様であり議員も身を切る思いを持って臨まなければならぬと考えています。また、平成28年11月から平成30年7月までは、26名(2名欠員)の状態です。議会が運営されており、常任委員会の構成など課題はありましたが、特に不具合なく運営されていたことから定数削減は十分可能な範疇と考えます。定数削減により市民の声が反映されないとの意見もあります。議会と市民との意見交換会を実施するなど議会改革の中で解決策が見出せると考えます。



越川慶一議員



一般質問動画

【在留外国人対応】 市内の外国人在留者の急増を踏まえ、第2期苦小牧市総合戦略へ在留外国人対応を盛り込むと共に国の交付金を有効活用した相談窓口の体制強化を求め、20年度に民間委託による相談体制設置を検討する答弁がありました。同時に19年4月に施行された新たな特定技能制度を活用し、現在の外国人の技能実習が苦小牧に住み・働き続けてもらうために必要な手続きを担う登録支援機関の市内への設置を求めました。

【CCS実証試験】 CO2の圧入作業が終了したことで当初に想定した施設の建設や雇用など200億円の地元経済への波及効果の検証。また、300億円の設備投資といわれる苦小牧の実証試験施設を本格的な実用化や次の展開であるカーボンリサイクルに活用するよう地元関係者の理解を得ながら国に求めるべきと質問しました。



松井雅宏議員



一般質問動画

【在留外国人対応】 市内の外国人在留者の急増を踏まえ、第2期苦小牧市総合戦略へ在留外国人対応を盛り込むと共に国の交付金を有効活用した相談窓口の体制強化を求め、20年度に民間委託による相談体制設置を検討する答弁がありました。同時に19年4月に施行された新たな特定技能制度を活用し、現在の外国人の技能実習が苦小牧に住み・働き続けてもらうために必要な手続きを担う登録支援機関の市内への設置を求めました。

【CCS実証試験】 CO2の圧入作業が終了したことで当初に想定した施設の建設や雇用など200億円の地元経済への波及効果の検証。また、300億円の設備投資といわれる苦小牧の実証試験施設を本格的な実用化や次の展開であるカーボンリサイクルに活用するよう地元関係者の理解を得ながら国に求めるべきと質問しました。